

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

固形癌患者における ACA index の有用性に関する検討

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 技手補（研究責任者）佐久間 葵

＜研究期間＞

機関の長の初回許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

＜対象となる方＞

2020 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の期間に当院腫瘍センターで固形癌の抗がん剤治療を行った 65 歳以上の方

＜研究の目的＞

高齢血液がんの患者さんのデータより構築された、高齢者の抗がん剤治療における副作用の重篤化を予測するツールである ACA index を用います。評価は年齢、チャールソン併存疾患指数、血清アルブミン値の計 3 項目で行い、ACA index が固形癌患者の化学療法による有害事象の評価ツールとして適応可能か調査します。また、ACA index が高齢者のがん化学療法における有害事象のリスクを予測する新たなツールの 1 つになり得るか検討します。

＜研究の方法＞

ACA index が副作用を予測することができるかを調査します。また、治療開始後の減量率と ACA index との関連、治療効果と ACA index との関連を調査します。さらに、CARG(Cancer aging research group)スコアによる評価を同時に行い、ACA index との関連性を調査します。CARG スコアとは、高齢者の抗がん剤治療における副作用の発生リスクを予測するためのツールの 1 つとして米国で開発されたものです。評価項目としては年齢、癌腫、投与量、薬剤数、Hgb、Ccr、聴力、半年以内の転倒歴、薬の自己管理、100m 程度の歩行、1 か月以内での対人関係での制限の計 10 項目から構成されます。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

電子カルテや薬剤師記録より年齢・性別・副作用の種類・副作用の重篤度・治療レジメン・検査値・減量率や治療奏功期間を収集いたします。

なお、公開後の場合は、同意を撤回された場合でも公開データからの削除対応ができなくなります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

薬剤部 氏名：佐久間 葵

電話：03-3972-8111 内線：腫瘍センター（薬剤部） （PHS） 8378

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方